



会報 商工連とちぎ

No.394

令和7年1月1日発行
新年号

URL <https://www.shokokai-tochigi.or.jp>



謹賀新年

令和5年に開業100周年、令和6年に蓄電池駆動電車「アキュム」導入10周年を迎えた烏山線は、JR東日本の「ゼロカーボン・チャレンジ」の一端を担う。那須烏山商工会も加盟する「JR烏山線利用向上委員会」により、次世代に繋げるための取組が行われている。

(「雪とアキュム」 鈴木一也氏 撮影)

伊藤 邦夫		東泉 清寿		山田 祐子		小林 信作		三室 一男		長 光博		手嶋 崇夫		越沼 哲士		郡司 岳尊		井戸 道廣		理事		青木 剛		専務理事		大森 順一		佐藤 金司		薄井 正明		会長	
藤岡 町		矢板 市		県女性連		県青連		都賀 町		下野 市		茂木 町		湯津 上		塩谷 町		栗 野				商工連				小山市おもいがわ		高根沢 町		那須 町			





栃木県商工会連合会
会長 薄井 正明

明けましておめでとうございます。令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
さて、昨年は、小規模企業に特化した「小規模企業振興基本法」誕生から、ちょうど10年の節目の年でした。



栃木県
知事 福田 富一

商工会会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。
私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様から御支持をいただき、引き続き県政運営を担うこととなりました。県内各

法律が制定されたのは平成26年6月です。商工会が旗振り役となつて国へ要望し、これまで「中小企業」とひとくくりにされ、その概念すらなかった小規模企業に対して、「成長発展のみならず、事業の持続的発展を支援する」との基本原則が整備され、その後、様々な支援策が展開されることとなりました。

会員企業と地域に役立つ商工会へ

巻く環境は急激かつ大きく変化しました。
しかし、このような苦境にあつても、小規模企業は地域で雇用を維持し、インフラを支え、更には、地域コミュニティの維持にも大きく貢献し続けています。

あれから10年。商工会地域は、少子高齢化・人口減少により、市場の縮小が進んでいます。また、近年は新型コロナウイルス感染症の流行のほか、歴史的な円安、物価高騰に加え、激甚化する災害の頻発など、小規模企業を取り

商工会は、地域に欠かすことが出来ないこの小規模企業を守るため、地元に着目して経営状況をよく理解している職員が、経営者とともに本質的課題を見だし自分事として解決にあたると、必要な支援策の上手な活用

を手助けする、不安を分かち合う、やる気を起こさせ後押しする……といった「商工会ならではの」伴走型支援を提供してまいります。必ずや、これらの取組は地域全体を活性化させ、地域の持続的な発展へと繋がるものと確信しております。
本年、商工会は法施行65周年という記念すべき年を迎えました。10月には記念大会を開催し、これまでの組織発展の功労者を讃えるほか、1万6千余の会員の皆様とともに、商工会の使命である地域経済の健全な発展と地域社会への貢献を目指す決意を新たにします。

県内33商工会が経産大臣認定を受けた「経営発達支援計画」には、各々の「地域への裨益目標」を掲げています。「裨益」とは「助け」となり、役立つことです。このために、商工会は今後も、県や市町、金融機関、各種関係団体等と連携し、会員企業と地域に役立つ取り組みを展開し、小規模企業と地域をしっかりと支えてまいりますので、会員の皆様におかれましては、是非、商工会を積極的にご利用くださいますようお願いいたします。
結びに、会員の皆様並びに関係各位にとりまして、今年が明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

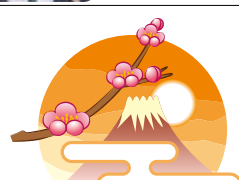
地で県民の皆様の切実な声やふるさと「とちぎ」に対する熱い思いをお伺いし、改めて知事としての責任の重さを実感しているところでありま。今後とも、「対話と協調」「県民中心」「市町村重視」を徹底するとともに、「官民連携」を一層強化しながら、スピード感を持って、最大の成果が得られるよう、取り組んで参る決意であります。

さて、昨年は、まち・ひと・しごと創生法が施行され、地方創生の取組が本格化して10年の節目を迎えました。国におきましては、「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置するとともに、「地方こそ成長の主力」との発想に基づき、これまでの取組の成果と反省を生かし、「地方創生20」として再起動させると

併せて、両計画を一本化した次期プランの策定を着実に進めて参ります。
特に、喫緊の課題である人口減少問題の克服に向けまして、官民連携による「栃木県人口未来会議（仮称）」を設置し、県や市町、関係団体、民間企業等が認識の共有や相互の連携を図りながら、結婚

び文書館につきましては、現在「文化と知」の創造拠点として一体的に整備する構想の策定を進めているところであります。新たな施設が本県の文化振興の中核として、将来にわたり県民に愛され、誰もが誇りに思える、とちぎならではの拠点となるよう、引き続き、丁寧に検討して参ります。
知事6期目の新たな年を迎えるに当たり、私自身がオールとちぎの先頭に立ち、「誰もが未来に夢や希望を持てる栃木」「豊かさを実感できる栃木」の実現に向けて、全身全霊で取り組んで参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。
本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

「誰もが未来に夢や希望を持てる栃木」、
「豊かさを実感できる栃木」の実現へ

理事 井戸道廣 〔栗野〕 柔軟な心と 知恵で、 新たな挑戦を	専務理事 青木剛 〔商工連〕 初心忘るべからず	副会長 大森順一 〔小山市おもしろい〕 会員の良き 伴走者として 共に歩む	副会長 佐藤金司 〔高根沢町〕 繁栄の年！ 伸ばすぞ！ 我が店。
理事 長光博 〔下野市〕 頼れる、頼ら れる商工会会 員満足度の向上	理事 手嶋崇夫 〔茂木町〕 「稼ぐ力」を 伸ばし豊かな 地域づくり	理事 越沼哲士 〔湯津上〕 持続可能な 未来を創造 する。	理事 郡司岳尊 〔塩谷町〕 和を以て 町とともに
監事 東泉清寿 〔矢板市〕 地域振興は 商工会から	理事 山田祐子 〔県女性連〕 親愛なる仲間 同士で応援し 合おう	理事 小林信作 〔県青連〕 貢献と挑戦	理事 三室一男 〔都賀町〕 SDGsに 向って取組 を更に強化
西方 山岸弘幸 皆の幸せと 繁栄を願い心の若さを。	うつのみや市 高橋栄一 変化を力に、 地域と共に成長	上三川町 鶴見秀昭 已巳巳、身 の程知らず も面白い	監事 伊藤邦夫 〔藤岡町〕 藤岡町に根差した 人間関係の構築
にのみや 早瀬一男 困難な時こそ 笑顔で 乗り越えよう	2025 商工会長 今年の目標・抱負 		足尾町 菅沼清 挑戦と共創で 拓く足尾の 新たな未来
市貝町 石川陽一 経済を考え た上での道 徳の再確認			益子町 塚本裕昭 課題解決に スピード対応
野木町 寺内浩 まずは商業 の活性化を 目指す	石橋 吉田宗司 成長と繁栄への 新たな挑戦の年	壬生町 赤羽根信行 中小企業の 強みを活かす 支援強化	芳賀町 田川治道 LRTの活用 と商工業の 活性化
喜連川 塚本正道 市制20周年 新たな時代の スタート	氏家 池田章二 笑顔で支援、 地域を元気に！	岩舟町 小倉久緒 激動の年、 変化に合わせて 柔軟に！	大平町 藤崎英治 地域経済の 発展に 尽力する
那須塩原市 人見和夫 このままで いけないと 思っている。	黒羽 郡司昌尚 成長と共創の 確かな実現を 目指す	那珂川町 益子和弘 一生懸命！ 会員と共に 歩む商工会	那須烏山 中村恵之 繋がりを 持って地域 活性化！！
	足利市坂西 田中美雄 地域活性化の 一翼を担い 組織率向上	佐野市あそ 松本常治 組織力の 向上と創業 支援の強化	西那須野 大倉太喜生 職員のやる 気を育てる 背中を押す

伴走支援の現場から

都賀町

株式会社 トレンド

住所 栃木市都賀町家中5932-13
TEL 0282 (25) 7862

DXの推進は、中小企業・小規模事業者にはあまり関係がないものと思われがちだが、労働人口の減少や市場縮小などの課題に直面する事業所ほど、生産性に与える効果は大きく、必要不可欠な取り組みとされている。

今回は、都賀町商工会の相川主任が支援先の業務フローを自ら体験し、ITツールを用いた改善提案を行うことで、業務改革や売上向上に繋がった支援事例を紹介する。

■支援のきっかけ

(株)トレンドは、大塚友義代表取締役(以下、大塚社長)が平成27年に創業。葬祭事業からスタートし、「高齢者の皆さまが毎日を楽しみ、そして安心して暮らすためのサポート」を

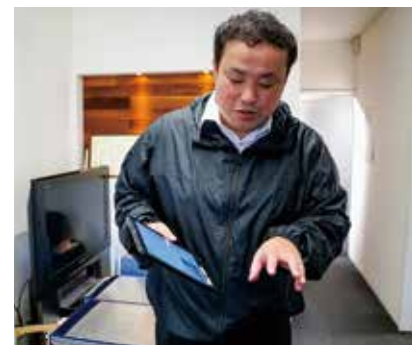


DX推進について話す大塚社長(右)と商工会の相川主任(左)

コンセプトに、現在では高齢者向けの配食サービスや、移動販売などにも事業分野を広げている。相川主任は創業当初から巡回訪問を重ねることで関係性を構築してきた。3年前、大塚社長とともに栃木県主催の「チームイノベーション実践プログラム」に参加したことが、今回の支援のはじまりとなった。

■社長と現場、それぞれの想いを共有

毎日、栄養バランスが良く美味しいお弁当を自宅に届けるだけでなく、利用者にお声をかけることで体調の確認や変化に気づけるようにしたい、



タブレットを用いて配送システムを説明する大塚社長

それを大手と差別化する強みにしたい、と始めた配食サービス事業。大塚社長はもっと配達個数を増やして売上を創ることができると考えていた。一方で配達員側は、社長が強みとしたい利用者やその家族との「ふれ愛」による関係性構築を大切とするならば、これ以上の配達数増加は難しいと考えていた。そこで、相川主任は配達車に複数回同乗することで、詳細な業務フローの把握と課題を調査した。そして、その内容を大塚社長のみならず、会社全体で共有することにした。

■補助金制度を活用してIT機器を導入

受注個数の変更、紙の地図を使用したルート確認、手書き日報による時間ロスなどの多さ、

アナログであるが故に共有できていない顧客との「ふれ愛情報」など、明らかにあった課題を解決するためには、IT機器の導入が不可欠だという認識が全体で共有された。さらに強みを実現するために改善すべきことなどについて協議を重ねた結果、「クラウド型宅配効率化システム」を導入することが決定された。システムの選定にも相川主任が積極的に関与し、併せて「IT導入補助金」の申請を支援したことで、導入費用の一部に充てることができた。

■DX推進による成果

課題と解決策を社内でも共有しながら進めたとはいえ、情報機器の活用は配達員から抵抗もあったようだ。そのため、社長自ら使い方や効果を説明するなど丁寧な対応を心掛けた。大塚社長は「社内でも立場によって着眼点が違うことを実感することができた。その摺り合わせも重要でその点でも相川さんには力になってもらった」と述べる。

売上25%アップ、業務品質の向上、勤務時間の安定、利用者などから寄せられる「感謝の言葉」の増加もあり、社員等のモチベーションも高まった。



位置情報機能も搭載されたシステムの端末。事務所内のモニターでも各種情報をリアルタイムで確認できる。



相川主任も同乗した配達車。黄色いステッカーが目印。

チベーションまでもが変化したと感じられるという。商工会の支援によりこのような成果に寄与できたのであれば、支援機関としてこれ以上の喜びはない。課題や解決策について事業所側と支援者側とで互いに心から納得したうえで、改善に向けた歩みが始まる。中小・小規模事業者におけるDX推進の模範的な伴走型支援となった。



とろろで生まれた自社商品を全国へPR

全国商工会連合会主催の「ニッポン全国物産展」が11月15日から17日にかけて東京の池袋サンシャインシティで開催された。この事業は大消費地である都心で展示販売会を開催することにより、中小・小規模事業者が開発した商品のPRや販売力の

全国の地方銀行が共同で主催する「地方銀行フードセレクション2024」が、10月29、30日、東京ビッグサイトにて開催された。このイベントは、全国各地の食品・食材を扱う事業者と食品バイヤーを対象としたB to Bの商談会で、地域の食品・食材を広く市場に流通させることを目的としている。出展事業者は、商工会職員や銀行スタッフ等から商談のサポートを受けながら、バイヤーに対して商品の味や魅力を訴求することで、販路開拓につなげていく。

全国から1029事業者が出展し、本県商工会地区からは商工連を通じて、アトリエ・ジュリアローズ（喜連川）、わくわくお米本舗、パティスリーマミー、佐野大黒屋（いずれも佐野市あそ）の計4店舗が出展した。展示商談会において、各店舗は商品の陳列だけでなく、看板の設置や商品説明を記載した大きな写真を飾るなど工夫を凝らしてPR。出展事業者は、大手百貨店等それぞれ新たな取引先と契約に至り、成果を得ることができた。

地方銀行フードセレクション2024が開催 自社商品の魅力を食品バイヤーに直接伝える



各店舗を訪れたバイヤーは商品説明に熱心に耳を傾けていた

向上等を目的としている。全国から181事業所が出展し、本県商工会地区からは、とん太ファミリー（益子町）、（有）天志古商店（壬生町）（株）マルトモ食品（大平町）の3事業者が出展。昨年度を超える約8万人が訪れた場内は賑やかな雰囲気にも包まれ、出展者は来場者との対話や試食を通して自社製品の魅力を存分にアピールしていた。

販路開拓支援事業 「バイヤーズルーム」と「バイヤーズワン」のご案内

全国商工会連合会では、販路開拓支援として「buyer's room（バイヤーズルーム）」と「buyer's one（バイヤーズワン）」を展開しています。県内会員企業のなかには、これらの事業を活用し、売上の向上に繋がった実績もあります。

例年、募集時期が決まっています。最新情報は下記HPをご覧ください。お近くの商工会にご相談ください。

buyer's room(バイヤーズルーム)【食品のみ】

流通関係者等へのPR、商談希望バイヤーとのマッチングによる販路開拓支援事業。例年9月・11月に「審査会型ビジネスマッチング」形式で開催。募集は約2か月前から開始する。また、経済産業大臣賞などの賞の受賞は商品の付加価値向上にもつながる。

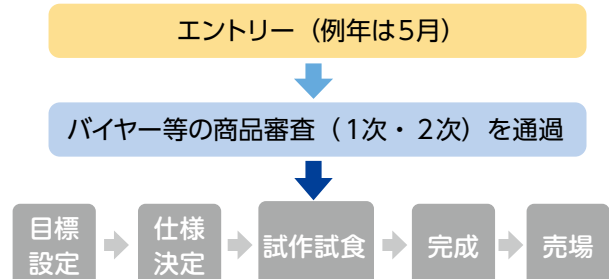
バイヤーズルームHP



buyer's one(バイヤーズワン)【食品のみ】

商品開発・改良時点から第一線で活躍するバイヤーが支援し、「売れる商品作り」をサポート。その後の販路開拓まで支援を行う。

バイヤーズワンHP





受賞された
福田徳一前商工連会長

御下賜金記念産業教育功労者表彰 県の産業界と教育界の連携に貢献

「令和6年度御下賜金記念産業教育功労者表彰」の伝達式が11月18日、県公館で開かれ、福田徳一前商工会連合会長が受賞された。

この表彰は、公益財団法人産

業教育振興中央会が昭和天皇から事業奨励の御下賜金を拝受したことを記念し、産業教育の振興に顕著な功労のあった教職員や関係者を表彰している。

受賞者を代表して福田前会長は「産業教育を通して教育界と産業界の連携に携わることができたことに誇りと喜びを感じている」と謝辞を述べた。



要望書を提出する薄井会長（左から2番目）

12月2日、県内商工3団体が「地域経済活性化と中小企業・小規模事業者の成長・持続的発展のための要望書」を福田富一知事と日向野義幸県議会議長に提出した。要望書は、商工連（薄井正明会長）のほか、県中小企業団体中央会（横倉正一会長）、県商店街振興組合連合会（長島俊夫理事長）の連名によるもの。

中小企業・小規模事業者対策予算の拡充をはじめ、物価高対策並びに適正な価格転嫁に向けた支援や金融支援の拡充・強化、デジタル化支援及び省力化投資の促進など、11項目について県の支援を求めた。

3団体合同で県と県議会に要望 物価高対策・適正な価格転嫁に向けた支援など

退職金の準備を中小機構がお手伝いします！
安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みに応えます

年金に不安を感じたら
無理のない月額で積立をしたい

他にもこんな特徴があります。
・月々の掛金は1,000円から
・契約者貸し付けの利用が可能
・共済金の受給権は差押禁止

経営者のための
退職金制度

掛金は
全額所得控除

受取時も
税制メリット

オンラインで加入申込み受付中

加入後の一部手続きもオンラインで可能。
掛金払込証明書の電子交付、掛金月額の増額減額、住所等の変更 など

小規模企業共済制度の詳細な内容は
2次元コード又はホームページからご確認ください。

小規模共済 検索

共済相談室 TEL: 050-5541-7171 【受付時間】 平日 9:00~17:00

2024.9

申込期限
令和7年2月14日

容器包装のリサイクル ~令和7年度の再商品化委託申込受付中~

容器包装リサイクル法(以下「法」)により、「容器」「包装」を使って商品を売ったり、「容器」をつくっている事業者は、再商品化(リサイクル)の義務を負う可能性があります(但し、**小規模事業者は除きます**)。

下記について今一度ご確認ください。

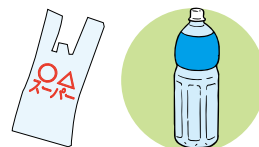
①【再商品化(リサイクル)の義務】を負う特定事業者に該当するか否か

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会コールセンター (TEL: 03-5251-4870) にご相談ください。

②「特定事業者」でありながら、再商品化義務を履行していない場合

平成12年4月の「法」の完全施行時まで遡及して義務を履行していただく(再商品化委託申込を行っていただく)必要がありますのでご注意ください。

■詳細はこちらをご覧ください：協会ホームページ URL: <https://www.jcpra.or.jp>
“リサイクル協会”で検索いただくと、再商品化委託申込に関する情報を掲載しています。



HPIはこちらから

第64回 商工大会

リスクマネジメントの対応には
商工会による伴走支援が
必要不可欠



6項目の大会決議が決定した

第64回商工会全国大会が11月21日、渋谷のNHKホールにて開催された。全国各地の商工会長や役員等約3000人が出席。本県からは薄井正明商工連会長をはじめ78人が参加した。

森義久全国連会長は会長挨拶で「中小企業・小規模事業者が生産性向上やDX・デジタル化等の事業環境の変化に適応し、喫緊の課題である創業・事業承継や自然災害等に備えたリスクマネジメントに対応するためには、商工会による的確な伴走支援が必要不可欠である。今後とも、商工会は唯一無二の地域総合経済団体として地域

大会決議

- 中小企業・小規模事業者のための大型経済対策の早期編成と実施
- 日本経済の起爆剤となる地方創生の推進
- 小規模企業対策費の大幅拡充
- 災害からの復旧・復興と災害対策の強化
- 事業者が活用しやすい各種制度の改正・拡充
- 地域唯一の経済団体である商工会の支援力・組織力強化

課題の解決に一層注力し、地域経済・社会の中核的存在として役割を果たすことができるよう、役員員各々が自覚と責任を持ち、不断に組織力の強化を図らねばならない」と挨拶した。

大会は、6項目の大会決議を採択した後、中小企業庁長官表彰、全国連会長表彰等が行われ、本県から役員功労者表彰など28名と、事業推進優良商工会等表彰として、湯津上商工会が表彰された。

(受賞者名は下記に記載)

晴れの表彰

28名・1団体

表彰基準日 令和6年3月31日 (敬称略)

中小企業庁長官表彰

役員功労者

塩谷町 副会長 郡司 岳尊
〃 理事 斎藤 義雄

優良常勤役員

塩谷町

課長 石下 勲

商工会連合会

主査 福原 辰也

全国商工会連合会会長表彰

役員功労者

下野市 理事 上野 賢治
〃 副会長 萩原 幸一
〃 監事 若林 忠雄

茂木町

副会長 半田 和男
〃 副会長 河上 哲也

壬生町

理事 関根 良和
〃 理事 佐藤 豊忠

石橋

理事 戸崎 好美
〃 理事 佐藤 泰秀
〃 理事 高山 司郎
〃 理事 和典

優良常勤役員

足尾町 主査 樋山 盛信

にのみや 主事 寺田真由美

氏家 主査 見目 剛史

事業推進優良商工会等表彰

組織統一推進枠部門

巡回訪問の実施 (伴走型支援の徹底)

湯津上商工会

働く皆様に安心を。



で退職金。

「中退共」は中小企業のための
国の退職金制度です。

① 国の退職金制度!

掛金の一部を国が助成します。

② 外部積立型でラクラク管理!

管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク!

節税に加え、手数料もかかりません。

● パートタイマーさんち
ご加入いただけます。

● 他の退職金・企業年金制度等
との資産移換も可能です。



詳しくはホームページ
をご覧ください。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

TEL (03) 6907-1234

FAX (03) 5955-8211

女性部リーダー等セミナー



ICTやDXについて西岡サブマネージャーから説明を受けた

デジタル活用で業務効率化のヒントを掴む

県女性連（山田祐子会長）は12月11日、とちぎビジネスAIセンターの西岡陽子サブマネージャーを講師に招き、デジタルを活用した業務効率化について知識を深めた。

とちぎビジネスAIセンターは、県内企業におけるAI等の導入利活用を支援するため、栃木県が設置した拠点施設であり、様々なIT機器が常設されている。その中から本セミナーのために厳選さ

行ったほか、市貝町を始めとする各市町の観光協会や、佐野市に本部を置く「日本クリケット協会」のPRを行った。

当日は晴天にも恵まれ、家族連れなど多くの来場者で賑わい、各店舗には開始早々に行列ができ、商品を追加するなど盛況だった。

ステージイベントでは、各商工会青年部が出店内容・地域PRを行ったほか、壬生町出身のシンガーソングライターであるサトウヒロコ氏によるライブや、地元のダンススタジオの子供達によるダンス

れた5つのソリューションがセミナー会場に展示された。参加者は5つのグループに分かれ、それぞれのソリューションに触れながら説明を受けるなどし、体験型で進められた。西岡サブマネージャーからは、デジタル化が目される背景やAIやIoTの概要、業務での活用事例が紹介された。

参加者からは「面倒な作業から解放されるかも」「取引先に紹介したい」などの声もあがり、DX等の推進は中小企業・小規模事業者にとって



各ブースに設置されたソリューションを体感する参加者。質問も出るなど関心が高かった

商工会青年部まつりを壬生町で開催



多くの来場者で賑わう会場

県内各地から青年部が壬生町に集結 青年部活動やグルメなどの魅力をPR

11月9日、壬生町商工会と栃木県商工会青年部連合会は「商工会青年部まつり」を壬生町役場芝生エリアで開催した。このイベントは、県内各地から18商工会青年部が壬生町に集結し、青年部活動をはじめ、各地域の特産品やグルメ・事業所を広くPRすることを目的としている。

会場では、飲食や射的、りんごの皮むき競争など各青年部の特色を活かした出店を

また、場内イベントとして出店ブースコンテストを行い、那須塩原市商工会青年部がグランプリを受賞。会場は大いに盛り上がった。

また、場内イベントとして出店ブースコンテストを行い、那須塩原市商工会青年部がグランプリを受賞。会場は大いに盛り上がった。



ステージ上では青年部活動と日本クリケット協会のPRが行われた

先着40名様
参加費無料

中小企業の皆様に役立つ「価格交渉講習会」を開催します



■具体的な事例を交えた実践的な内容です■

- ① 価格交渉は今がチャンス!最新動向について学ぶ ～価格交渉の最新動向～等
- ② 下請事業者に対する過度な要求?こんな取引条件に要注意!!
- ③ よりよい価格交渉のための準備 ～購買担当者の心理・状況の把握～等
- ④ 受注者のための価格交渉術 ～「価値提案型値上げ」への転換に向けて～等

■お申し込みは、お近くの商工会にご相談ください

日時:令和 7年1月30日(木)
13:30～15:00

会場:宇都宮市文化会館 会議室
(宇都宮市明保野町7-66)

主催:下野新聞社/共催:栃木県商工会
連合会/後援:中小企業庁